

HOME > PROJECT > > 「トンカンテラス」の開設準備が進行中！

PROJECT XSTAND2021

「トンカンテラス」の開設準備が進行中！



2019年度のXSCHOOLから生まれた、“ものづくり”をテーマにした地域の交流拠点「トンカンテラス」。当時の中心メンバーで自らの実家倉庫を改修するプランを発表していた黒田悠生さんが、本格的な拠点開設の準備を進めています。

PROJECT



XSESSIONS

2021 PROJECT
ARCHIVE

2020 PROJECT
ARCHIVE

2019 PROJECT
ARCHIVE

2018 PROJECT
ARCHIVE

2017 PROJECT
ARCHIVES

2016 PROJECT
ARCHIVES

CONTACT

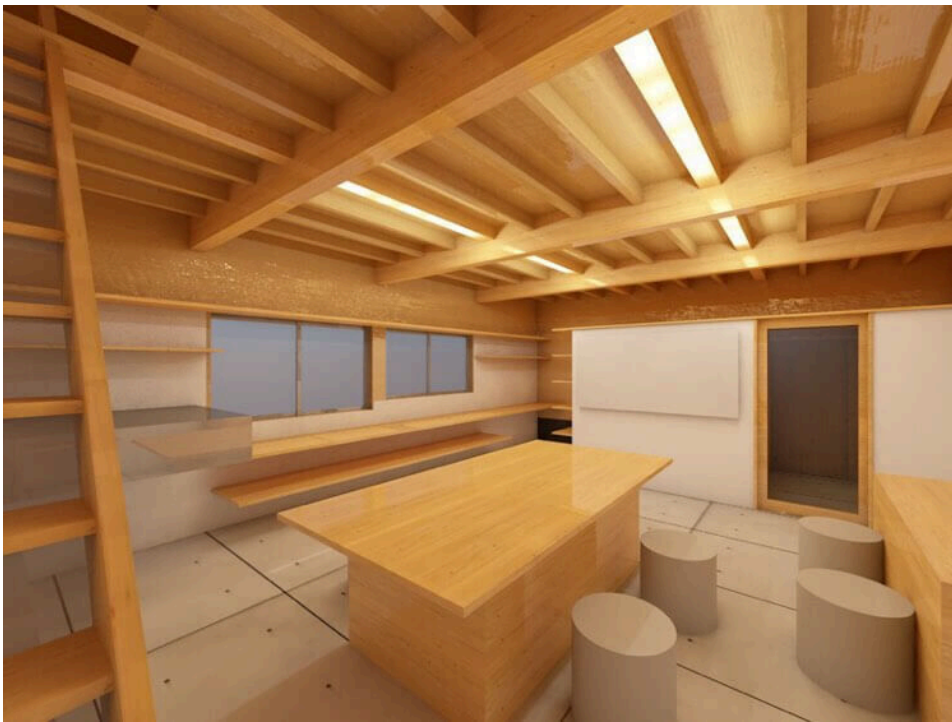


XSCHOOL参加後、会社員として働きながらも、自らのプロジェクトとして実家倉庫を使ったものづくり体験イベントや3Dプリンター・レーザーカッターをつかったプロダクト開発を並行して行なってきた黒田さん。



▲福井駅前の歩道を利用した社会実験「ふくみち」ではオリジナルアクティビティ「ぽらっぐ」を製作発表。

そのような活動が続ける中で、『つくる』という行為や『できる』という気持ちを楽しむ人を福井に増やしたい」という思いを強くし、勤めていた企業を退社。2022年1月26日には新会社・ソリッドラボを立ち上げ、トンカンテラスも拠点としての本格開設を目指すことに。



▲改修設計はXSTUDIO(2018)-XSCHOOL（2019）メンバーで、建築士の高野麻実さんが担当しました。

2022年2月には、拠点整備のための改修ワークショップを開催。多くの子どもたちや地域の方が参加して改修作業を楽しみました。





▲地域の様々な人々を巻き込みながら、着々と開設に向けた準備が進んでいます。



▲この場所に、3Dプリンターやレーザーカッターをはじめ、ものづくりを楽しむための様々な機材が導入されていく予定。

あくまでも主語は「自分」におきながら、「自分が暮らす地域を楽しくしていきたい」と語る黒田さん。3月にはプラスチック廃棄物をものづくりの素材へと生まれ変わらせる「プレシャスプラスチック福井」の立ち上げも発表し、活動の幅をどんどん広げています。

福井県・若狭湾にて「海ごみ（資源）」回収編【...



ものづくりを通して地域を変えていく（かもしれない）トンカンテラスの活躍に今後もぜひご注目ください！

<https://tonkanterrace.com/>



いいね！ 0

<<< PREV NEXT >>>

|| **Related article** 関連記事

CONTACT



PROJECT

ノカテの「SUISEN Bouquet」が全国に！ チームも法人化へ。

越前海岸の水仙産地で新たな生業づくりに挑戦するプロジェクトチーム、ノカテ。2021年度はオリジナルプロダクトである「SUISEN Bouquet」のEC販売がスタートし…

MORE >

プロジェクトがオンライン
の本年度発表会Ⅵ



Xスクール発表会 経験、関心から事業案

県内外の若者らと福井のパートナー企業が新事業創出を目指す福井市の実践講座「Xスクール」の本年度発表会が6日、オンラインで開かれた。受講生4組が医療、福祉をより身近なものにするため、自分たちの経験や関心から生まれたプロジェクト案を披露した。都市部から若い人材を呼び込み、伝統的に人の流れを滞らせる市の「未来につなぐ、ふくい魅える化プロジェクト」の一環。



福祉身近に「新着想

5月10日午後7時、福井市で「ふくい魅える化プロジェクト」の発表会が開かれた。県内外の若者らと福井のパートナー企業が新事業創出を目指す福井市の実践講座「Xスクール」の本年度発表会が6日、オンラインで開かれた。受講生4組が医療、福祉をより身近なものにするため、自分たちの経験や関心から生まれたプロジェクト案を披露した。都市部から若い人材を呼び込み、伝統的に人の流れを滞らせる市の「未来につなぐ、ふくい魅える化プロジェクト」の一環。

PROJECT

【2020年度 make.f ARCHIVES】プロジェクト編

こちらでは本年度のmake.fプロジェクトや活動継続中のプロジェクトメンバーについて福井新聞で記事化されたものを紹介します。

2019XSCHOOLから生まれた「喜贈文…

MORE >

CONTACT

改修設計担当が縁 温泉施設に座布団

勝山、札幌の業者贈る

昨年末にリニューアルオープンした勝山市の勝山温泉センター「水芭蕉」に、その改修設計を手掛けた札幌市の事業者がこのほど、



座布団とクッションを寄贈した写真。オーダーメイドで県内企業が製造したこだわりの品で、この事業者は「感謝を込めて贈らせてもらった」としている。

寄贈したのは設計事務所

「三木佐藤アーキ」。同社の依頼で品物を製作した明林繊維（福井市）の村上貴宣社長が届けた。受け取った水芭蕉の樹家慎一支配人は非常にありがたい。ロビーの休憩スペースなどで活用する」と話した。座布団は12枚、クッションは20個あり、村上社長は「生地は製造から縫製までを県内で行った」と説明する。生地はいずれもポリエステル製。水芭蕉備え付けのソファと同じ素材で、恐竜の足跡柄が入っている。色もソファに合わせ、緑と白の2色とした。

三木佐藤アーキの佐藤圭代表は「統一されたデザインの内装にしたいと思っていたので寄贈した。このクッションなどをほしいという声が出て、市販につながると思う」と期待した。（桂知之）

PROJECT

【2020年度 make.f ARCHIVES】人、企業、まち編

これまでにmake.fプロジェクト参加したメンバー・企業たちは多方面で活躍を続けています。このうち福井県内でのアクションについて、2020年度に福井新聞で記事化されたも…

MORE >



PROJECT

みんなの拠点「XSTAND」が完成！

2020年11月末、福井駅前にmake.f活動の拠点となる「XSTAND」がついに完成しました！ 以前よりmake.fの運営を担ってきた福井新聞社が、地域に根ざした創…

MORE >

さらに読み込む



事業名 福井とつながる対流拡大事業 主宰 福井市
協力

国立大学法人 福井大学 産学官連携本部、公立大学法人 福井県立大学 地域連携本部、株
式会社福井銀行、株式会社福井新聞社

運営 株式会社福井新聞社、株式会社デザインスタジオ・ピネン

© 2025 未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト

CONTACT